

見開き 2 ページの論文概要の書き方について

日本科学技術大学 ○学生員 山田 奈緒子
日本科学技術大学 正 員 上田 次郎
○×大学○×学部 正 員 佐藤 塩胡椒

1. はじめに

例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。文献を引用するときは、例えば上田¹⁾は、とか、上田^{1),2)}は、みたいに書く。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。文献を引用するときは、例えば上田¹⁾は、とか、上田^{1),2)}は、みたいに書く。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。例えば、ここに適当な長さの前書きがあるとする。

2. 解析手法

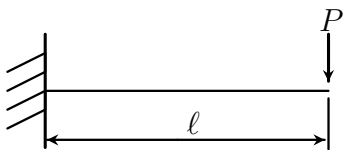


図-1 解析モデル

ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。

文中で図を引用するときは、**図-1** に示すように、みたいに書く。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。

表-1 材料諸元

板厚 t	3mm
桁高 h	3cm
ヤング率 E	$3 \times 10^4 \text{ kgf/cm}^2$
ポアソン比	0.35

ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。

文中で図を引用するときは、**図-1** に示すように、みたいに書く。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。ここに解析手法についての適当な長さの説明があるとする。

3. 数値計算

ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。文中で表を引用するときは、**表-1** に示すように、みたいに書く。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。ここに計算結果についての適当な長さの説明があるとする。

